

科目名		担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
社会福祉運営管理論		三宅 浩	講義	2	社会福祉士	2	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的		社会福祉法第 5 条に社会福祉を目的とする事業を経営する者への「福祉サービス提供の原則」が明記されています。つまり、福祉サービスを提供する組織の経営姿勢と福祉サービスの質とは深い関係性があると考えます。 「介護保険制度導入」、「措置から契約へ」と福祉制度が変貌していく中で社会福祉事業に多彩な事業者が参入し、その功罪も問われています。福祉サービスを利用する立場と提供する立場の両方から現状の課題を比較しながら、福祉サービスの質について考えることを目的とします。						
到達目標		①福祉事業を運営する側の視点から「福祉サービスの質」とは何かを考え、理解する。 ②福祉事業に携わる組織の形態とその特色を知ること、将来福祉事業に携わる場合の指針にできる。						
回	学習内容							
1	オリエンテーション（社会福祉サービスを提供する組織とは）							
2	社会福祉事業にどのような法人が参入し、その法人の根拠となっている法律							
3	社会福祉法人制度の概要とその果たしている役割							
4	公的責任と社会福祉法人等民間団体が果たす役割							
5	福祉事業を経営する組織の形態によって福祉サービスの内容に違いはあるのか							
6	事業経営に重要な役割を果たす経営理念を考える							
7	社会福祉施設の体系と役割							
8	社会福祉施設の事業計画作りと実行							
9	社会福祉施設の人事と労務管理							
10	社会福祉施設の財務管理							
11	組織のリスクマネジメント							
12	コンプライアンスとガバナンス							
13	チームとしての職員集団（チームとして取り組む仕事に個人の専門性をどう活かすか）							
14	サービスマネジメントと質の評価							
15	試験後、自分が組織の中で働くことをイメージしながらまとめを行う							
予習内容 復習内容	予習：講義の最後に次週の学習内容に関する課題を出します。 復習：ノートの整理と資料の整理（疑問点等があれば次の講義で積極的に発言してください）							
教科書	当日の講義内容に応じた資料、レジュメ等を適宜配布します。							
成績評価	全授業回数の 3 分の 2 以上の出席が必要。成績は試験 70%、小テスト（2 回実施）20%、授業の際に毎回提出してもらう「振り返り」を 10%として評価します。							
実務経験	障害者支援施設及び高齢者介護施設の現場で 36 年。社会福祉法人の庶務業務や社会福祉法人並びに NPO 法人の設立にも携わってきました。働く立場、経営する立場の両方から組織について話をします。							
その他 特記事項	仕事をしていく上で福祉事業に限らず、サービスを利用する側と提供する側の両面から事業運営を考える必要があります。運営管理を学ぶことで、利用者にとって利用しやすい事業所、働く者にとって力を発揮しやすい事業所とはどうあるべきかを一緒に考えていきましょう。							